

Q&A

(カテゴリー)

#004 麻酔、安楽死及び人道的エンドポイントについて

(質問)

#000003

問 22. 人道的エンドポイントとは？

(回答)

人道的エンドポイント (Humane endpoint) とは、実験動物を激しい苦痛から解放するための実験を打ち切るタイミング(すなわち安楽死処置を施すタイミング)をいい、実験動物が死亡するまで実験を続けるような実験計画の設定 (Death as endpoint) に対比して使われる用語です。

- ・ 動物実験等は安楽死処置をもって終了することを原則とする。
- ・ 動物実験等の最終段階において、あるいは鎮痛剤、鎮静剤等では軽減できないような疼痛や苦痛から実験動物を解放する手段として安楽死処置を行う(苦痛軽減方法のひとつ)。
- ・ 摂餌・摂水困難、苦悶の症状(自傷行動、異常な姿勢、呼吸障害、鳴き声など)、回復の兆しが見られない長期の外見異常(下痢、出血、外陰部の汚れなど)、急激な体重減少(数日間で 20%以上)、腫瘍のサイズの著しい増大(体重の 10%以上)などが人道的エンドポイント適用の目安になる。
- ・ 苦痛度の高い動物実験等、例えば、致死的な毒性試験、感染実験、放射線照射等を行う場合、動物実験責任者は動物実験等を計画する段階で人道的エンドポイントの設定を検討する。(「東北大学における動物実験等に関する規程とその解説」から引用)

参考文献

○「動物実験における人道的エンドポイント」The Institute for Laboratory Animal Research (ILAR)、中井伸子翻訳、出版アドスリー

○中井伸子「動物実験における人道的エンドポイント」

<http://www.med.teikyo-u.ac.jp/~dcml/pdf-F/2015/17%20humane%20endpoints.pdf>